

料金後納

CSR／アニュアル／統合レポート作成ご担当の皆様へ

ゆうメール

差出人返還先

メールカスタマーセンター株式会社 〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-20

東京

日時 ▶ 平成28年9月28日(水) 14:00～17:00

会場 ▶ 三田NNビル B1 多目的ホール 定員 ▶ 100名

東京都港区芝4-1-23 三田NNビルB1 (地図・アクセスは裏面)

大阪

日時 ▶ 平成28年10月5日(水) 14:00～17:00

会場 ▶ 星和ビジネスリンク セミナールーム 定員 ▶ 30名

大阪市中央区北浜3-5-29 日本生命淀屋橋ビル7F (地図・アクセスは裏面)

参加申込書

お申し込みは、下記URLもしくは、ファックスにてお願いします。
個人・コンサルタント・セミナー機関の方は、ご遠慮ください。

参加会場	<input type="checkbox"/> 東京	<input type="checkbox"/> 大阪	(いずれかに○)	参加人数	名
貴社名		所属		お役職	
お名前		E-mail		@	
TEL	() -	FAX	() -		
●セミナーで聞きたいことをお知らせください					

URL

<http://www.seiwabl.co.jp/csr2016/>

FAX

東京 03-5439-2371 大阪 06-6209-3720

【個人情報のお取り扱いについて】 ご記入いただいた個人情報は、当社ホームページ(<http://www.seiwabl.co.jp/>)掲載のプライバシーポリシーに従って適切に取扱致します。ご記入いただいた個人情報は、当社からセミナー開催等各種案内のために利用致します。上記利用目的達成のため一部業務を委託する場合があります。個人情報のご記入は任意ですが、ご記入いただけない項目がある場合、セミナー申し込みのお手続きに支障をきたす場合があります。以上にご同意の上お申し込みください。 ■お問合せ先(個人情報保護管理者)：株式会社星和ビジネスリンク 経営企画部(03-5439-2370)

お問合せ

株式会社 星和ビジネスリンク

本社／〒108-0014 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル4F TEL:03-5439-2363 FAX:03-5439-2371 担当:大石・菊地

大阪支社／〒541-0041 大阪市中央区北浜3-5-29 日本生命淀屋橋ビル7F TEL:06-6209-3677 FAX:06-6209-3720 担当:尾崎

企業報告のあり方を考える

～「分水嶺の2015年」を経て求められる長期視点～

2015年は、企業がサステナビリティ(持続可能性)を経営の中心的な課題として捉えるという方向が世界的に定まったことから、大きな“分水嶺”となりうる一年でした。

国連において採択された、持続可能な開発目標(SDGs)や気候変動に関するパリ協定は、企業戦略の一環として、2030年、2050年に向けた構想を練ることを促しています。これと並行して、各国の株式市場では、財務情報に偏った情報開示だけでなく、非財務情報も含む中長期視点からの報告を上場企業に求める動きが急速に広がってきました。日本でも、2つのコード(スチュワードシップ・コード、コーポレートガバナンス・コード)が機関投資家に投資基準の見直しを迫る一方で、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が国連責任投資原則(PRI)に署名したことにより、より長い目で、より幅広い要素を考慮するESG(環境、社会、ガバナンス)投資の本格普及期が始まりました。

これからの企業報告実務者には、このような構造的な環境変化の本質を理解した上で、各社の状況に応じて柔軟に(そして的確に)取り組むことが求められます。このセミナーでは、今日の企業が置かれた状況と取り組みの方向性を立体的に解説しながら、次回以降の皆様の報告実務をさらに実り多いものにするための具体的なアプローチを提案していきます。

第一部	中・長期投資家の視線と企業に求められるアプローチ <small>法政大学人間環境学部 教授 博士(経営学) 長谷川直哉</small>	中・長期投資家は、どのような目で企業を見ているのでしょうか。機関投資家の思考や行動を理解するためのポイントを解説し、これからの投資家との向き合い方を考えます。
第二部	有効な中・長期ビジョンは、どのように作るのがよいか <small>(株)ニッセイ基礎研究所 上席研究員 ESG研究室長 川村雅彦</small>	企業が中・長期のビジョンや目標を持つ経営戦略的な意義が、あらためてクローズアップされています。各社が、どのような内容、プロセスで取り組むとよいかを考えるための道筋を示します。
第三部	トップメッセージのあり方と社内調整のコツ <small>(株)アイディアシップ 代表取締役 後藤大介</small>	トップによるメッセージは、レポートの最も重要なパートです。訴求力のあるトップメッセージのあり方を、さまざまな実例を踏まえて考えます。悩ましい社内調整のコツもご紹介します。

長谷川 直哉 氏 (はせがわ なおや)

法政大学人間環境学部 教授 博士(経営学)



経営学博士(横浜国立大学)、証券アナリスト協会検定会員(CMA)。安田火災海上保険(現・損保ジャパン日本興亜ホールディングス)で「エコファンド」の立ち上げを担当。山梨大学を経て、2011年4月から現職(大学院公共政策研究科サステナビリティ学専攻教授兼務)。著書に「サステナビリティ社会のための生態会計入門」(森山書店、共著)、「企業家活動でたどるサステナブル経営史」(法政大学イノベーション・マネジメント研究センター叢書、共著)など多数。

川村 雅彦 氏 (かわむら まさひこ)

(株)ニッセイ基礎研究所 上席研究員 ESG研究室長

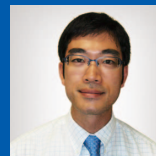


1976年九州大学大学院工学研究科修士課程修了、三井海洋開発(株)を経て、1988年(株)ニッセイ基礎研究所入社。専門は環境経営、CSR経営、環境ビジネス、統合報告。環境経営学会(副会長)、オルタナ総研(フェロー)などに所属。

著書は「カーボンディスクロージャー」(編著)、「統合報告の新潮流」(共著)、「CSR経営 パーフェクトガイド」(単著)など。

後藤 大介 氏 (ごとう だいすけ)

(株)アイディアシップ 代表取締役



1995年早稲田大学法学部卒業。電子機器メーカー勤務、ロンドン大修士課程、シンクタンク研究員・コンサルタントを経て、2012年4月に株式会社アイディアシップを設立。CSR・統合報告の支援をはじめ

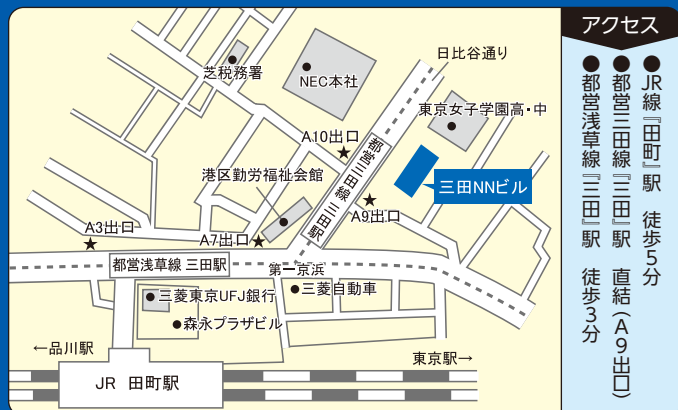
として、幅広い業種の企業による人・市場・社会・環境とのクリエイティブな関係づくりをきめ細かく支援している。

東京

日時/ 平成28年9月28日(水) 14:00~17:00

定員/ 100名 (お申し込みが定員に達し次第、締め切らせていただきます)

会場/ 三田NNビル B1 多目的ホール
東京都港区芝4-1-23 三田NNビルB1



大阪

日時/ 平成28年10月5日(水) 14:00~17:00

定員/ 30名 (お申し込みが定員に達し次第、締め切らせていただきます)

会場/ 星和ビジネスリンク セミナールーム
大阪府中央区北浜3-5-29 日本生命淀屋橋ビル7F

